

令和5年度 第2回

横浜市中央卸売市場開設運営協議会

次 第

日 時：令和5年10月13日（金）10時～
会 場：横浜市中央卸売市場本場
市場センタービル3階研修室

1 開 会

2 理事挨拶

3 議 題

- (1) 令和6年（2024年）における臨時休場日及び臨時開場日の設定について
- (2) その他

4 報告事項

- (1) 横浜市中央卸売市場会計運営計画の振り返りについて
- (2) 横浜市中央卸売市場本場青果部卸売業者の公募状況について
- (3) 令和5年度 横浜市中央卸売市場プロモーションの主な取組について
- (4) その他

5 閉 会

【資 料】

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 資料1 | 横浜市中央卸売市場開設運営協議会委員名簿 |
| 資料2 | 座席表 |
| 資料3 | 諮問文の写し |
| 資料4-1 | 令和6年（2024年）における臨時休場日及び臨時開場日の設定について |
| 資料4-2 | 令和6年（2024年）臨時休場日・臨時開場日（青果部）【案】 |
| 資料4-3 | 令和6年（2024年）臨時休場日・臨時開場日（水産物部）【案】 |
| 資料4-4 | 令和6年（2024年）臨時休場日・臨時開場日（食肉部）【案】 |
| 資料5-1 | 横浜市中央卸売市場会計運営計画の振り返りについて |
| 資料5-2 | 横浜市中央卸売市場における取扱高の推移について |
| 資料6 | 横浜市中央卸売市場本場青果部卸売業者の公募状況について |
| 資料7 | 令和5年度 横浜市中央卸売市場プロモーションの主な取組について |

横浜市中央卸売市場開設運営協議会委員名簿

		氏 名	職 名
1	会 長	山 下 東 子	大東文化大学経済学部教授
2	副会長	高 力 美由紀	新潟食料農業大学食料産業学部教授
3	委 員	高 井 典 子	神奈川大学国際日本学部教授
4	委 員	柴 田 典 子	横浜市立大学国際商学部准教授
5	委 員	長 岡 英 典	一般社団法人大日本水産会常務理事
6	委 員	岸 山 毅	全国農業協同組合連合会神奈川県本部農産部長
7	委 員	松 崎 嘉 子	横浜市消費者団体連絡会幹事
8	委 員	後 藤 正 明	横浜丸中青果株式会社代表取締役社長
9	委 員	小 島 雅 裕	横浜丸魚株式会社代表取締役社長
10	委 員	石 井 良 輔	横浜魚類株式会社代表取締役社長
11	委 員	山 口 義 行	横浜食肉市場株式会社代表取締役
12	委 員	鈴 木 格 次	横浜中央市場青果卸協同組合理事長
13	委 員	布 施 是 清	横浜魚市場卸協同組合代表理事
14	委 員	善 福 伸 一	横浜市場冷蔵株式会社代表取締役社長
15	委 員	酒 井 誠 一	横浜青果小売商協同組合連合会会長
16	委 員	明 澤 重 明	横浜水産物商業協同組合理事長
17	委 員	星 野 光 治	横浜食肉商業協同組合理事長
18	委 員	出 川 雄一郎	横浜市中央卸売市場関連事業者協同組合代表理事

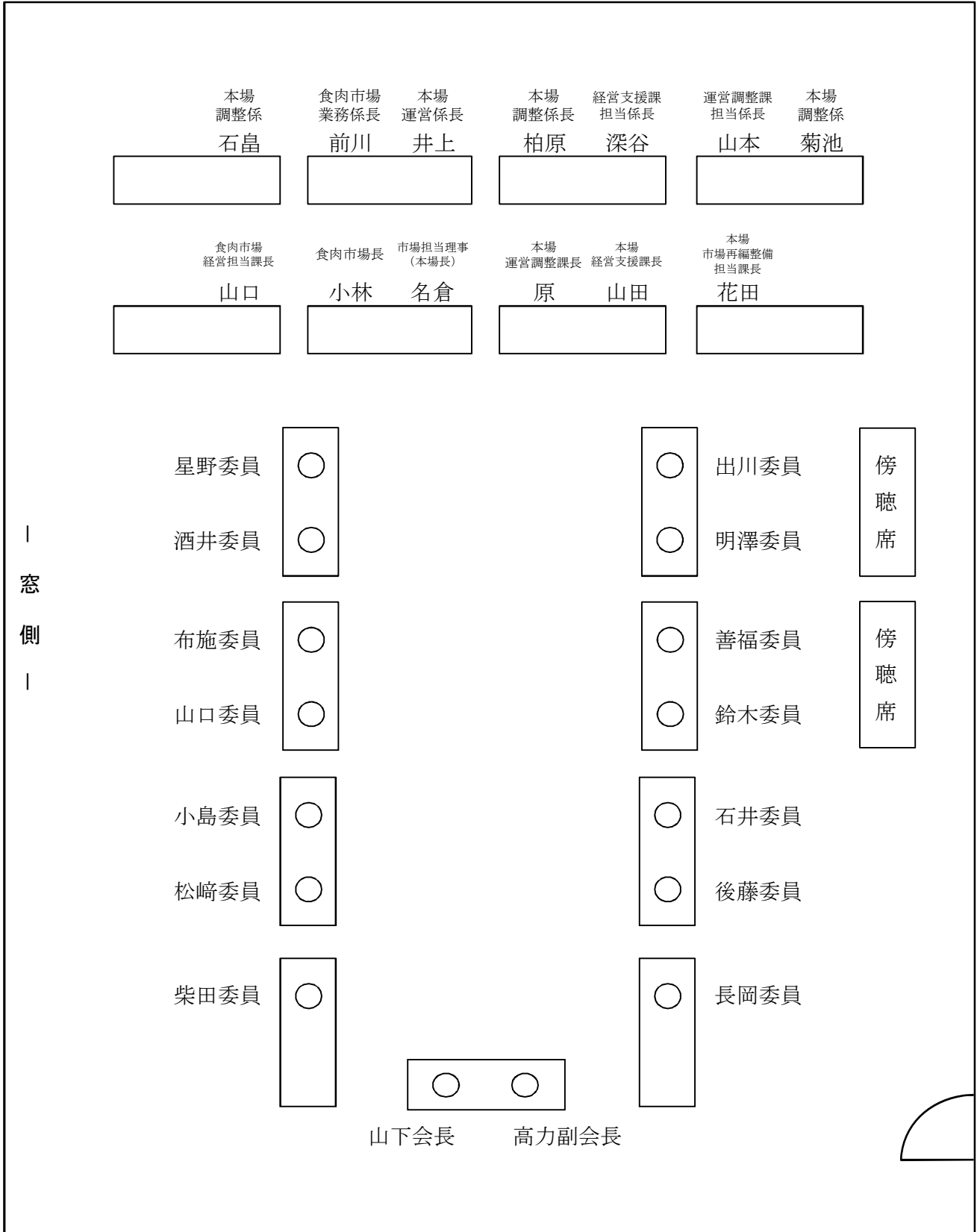
(敬称略・順不同)

委員数：18名

任期：令和4年9月1日から令和6年8月31日まで

日時:令和5年10月13日(金) 午前10時から
会場:本場 市場センタービル3階 研修室

令和5年度 第2回 横浜市中心卸売市場開設運営協議会 座席表





経運調第719号
令和5年9月12日

横浜市中心卸売市場開設運営協議会 会長

横浜市長 山中 竹春



下記の事項について諮問します。

記

- 1 諮問事項
令和6年（2024年）における臨時休場日及び臨時開場日の設定について
- 2 諮問の根拠
横浜市中心卸売市場条例第5条第2項及び第75条第1号に基づき諮問する。

令和 6 年（2024年）における臨時休場日及び臨時開場日の設定について

横浜市場への出荷者は同時に東京市場へも出荷することが多いため、出荷者の利便性向上の観点などから、東京市場の動向に合わせることを基本としながら、横浜市の個別事情を勘案して設定しています。

1 条例で定める休場日について

(1) 本場

- ア 日曜日及び水曜日（1月5日及び12月27日から12月30日までを除く）、祝日
- イ 1月2日から1月4日まで及び12月31日

(2) 食肉市場

- ア 日曜日及び土曜日（1月5日及び12月28日を除く）、祝日
- イ 1月2日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

2 臨時休場日・臨時開場日の考え方について

出荷者及び消費者の利益の確保のため、またはそれを阻害しない限りにおいて、臨時に休場日及び開場日を設定することができると条例で定めています。

令和6年については、それぞれ以下のとおり臨時休場日・臨時開場日を設定します。

<本場（青果部）> 年間開場日数：251日

(1) 臨時休場日（3日）

- ア 夏期（お盆）の臨時休場日
8月15日、8月16日
- イ 年末の臨時休場日
12月30日

(2) 臨時開場日（9日）

- ア 祝日であるが臨時開場日とする日
1月8日、2月23日、5月6日、8月12日
- イ 祝日がある週の水曜日を臨時開場日とする日
5月1日、9月18日、9月25日、10月16日、11月6日

<本場（水産物部）> 年間開場日数：254日

(1) 臨時休場日（2日）

- ア 夏期（お盆）の臨時休場日
8月15日、8月16日

(2) 臨時開場日（11日）

- ア 祝日であるが臨時開場日とする日
1月8日、2月23日、5月6日、8月12日

イ 祝日がある週の水曜日を臨時開場日とする日

2月14日、5月1日、7月17日、9月18日、9月25日、10月16日、11月6日

<食肉市場（食肉部）> 年間開場日数：244日

(1) 臨時休場日（3日）

ア 施設点検による臨時休場日

3月4日

イ 夏期（お盆）の臨時休場日

8月13日、8月14日

(2) 臨時開場日（3日）

ア 年末・年始の需要の増加等に対応するための臨時開場日

1月6日、12月14日、12月21日

《案》

令和6年（2024年）臨時休場日・臨時開場日〔本場（青果部）〕

■ は条例上の休場日（112日）

【 】 は臨時休場日（3日）

【 】 【 】 は臨時開場日（9日）

1月 (19日)							2月 (20日)							3月 (22日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3						1	2
7	【8】	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	【23】	24	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31				25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30
														31						

4月 (21日)							5月 (21日)							6月 (21日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				【1】	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	【6】	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

7月 (21日)							8月 (21日)							9月 (21日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	【12】	13	14	【15】	【16】	17	15	16	17	【18】	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	【25】	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

10月 (22日)							11月 (21日)							12月 (21日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	【6】	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	【16】	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	【30】	31				

赤文字は日曜日又は祝日

年間開場日数:251日

《案》

令和6年（2024年）臨時休場日・臨時開場日 [本場（水産物部）]

■ は条例上の休場日（110日）

【 】 は臨時休場日（2日）

【 】 【 】 は臨時開場日（11日）

1月 (19日)							2月 (21日)							3月 (22日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3						1	2
7	【8】	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	【14】	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	【23】	24	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31				25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30
														31						

4月 (21日)							5月 (21日)							6月 (21日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				【1】	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	【6】	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

7月 (22日)							8月 (21日)							9月 (21日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	【17】	18	19	20	11	【12】	13	14	【15】	【16】	17	15	16	17	【18】	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	【25】	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

10月 (22日)							11月 (21日)							12月 (22日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	【6】	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	【16】	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

赤文字は日曜日又は祝日

年間開場日数:254日

《案》

令和6年（2024年）臨時休場日・臨時開場日〔食肉市場（食肉部）〕

■ は条例上の休場日（119日）

【 】 は臨時休場日（3日）

【 】 【 】 は臨時開場日（3日）

1月 (19日)							2月 (19日)							3月 (19日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	【6】					1	2	3						1	2
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	【4】	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31				25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30
														31						

4月 (21日)							5月 (21日)							6月 (20日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

7月 (22日)							8月 (19日)							9月 (19日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	【13】	【14】	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

10月 (22日)							11月 (20日)							12月 (23日)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	【14】
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	【21】
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

赤文字は日曜日又は祝日

年間開場日数:244日

横浜市中央卸売市場 会計運営計画の振り返りについて

1 会計運営計画とは

特別会計の健全化のために、「横浜市中期4か年計画」で、会計ごとの策定が定められています。現行計画の期間は、令和2年度から令和5年度までの4年間となっており、令和5年度で計画が最終年度を迎えるため、これまでの主な実績について報告します。

2 収支実績（決算ベース）

(1) 本場（中央卸売市場費会計）

（単位：百万円）

区 分	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					(予算)
歳 入 (A)	歳 入 (A)	2,885	2,865	4,245	5,620
	使用料及び手数料	1,411	1,425	1,422	1,474
	県 支 出 金	0	13	292	457
	財 産 取 入	577	577	577	577
	諸 収 入	313	250	378	522
	市 債	423	538	1,364	2,433
	一般会計繰入金	162	63	212	158
	歳 出 (B)	2,714	2,848	4,150	5,807
歳 出 (B)	運 営 費	2,057	1,965	2,152	2,454
	施 設 整 備 費	442	565	1,667	2,913
	公 債 費	215	317	331	439
	予 備 費	0	0	0	2
前年度からの繰越金 (C)	479	650	668	187	
前年度繰上充用金 (D)	0	0	0	0	
形式収支 (A-B+C-D=E)	650	668	764	0	
翌年度へ繰り越すべき財源 (F)	0	0	0	0	
実質収支 (E-F)	650	668	764	0	

(2) 食肉市場（中央と畜場費会計）

（単位：百万円）

区 分	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					(予算)
歳 入 (A)	歳 入 (A)	4,897	3,370	3,286	3,746
	使用料及び手数料	181	196	221	240
	県 支 出 金	0	0	0	0
	財 産 取 入	0	0	0	0
	諸 収 入	730	467	371	476
	市 債	1,721	190	359	556
	一般会計繰入金	2,265	2,517	2,334	2,473
	歳 出 (B)	4,773	3,270	3,436	3,746
歳 出 (B)	運 営 費	2,633	2,645	2,562	2,650
	施 設 整 備 費	1,723	206	385	568
	公 債 費	417	418	489	527
	予 備 費	0	0	0	1
前年度からの繰越金 (C)	16	140	241	0	
前年度繰上充用金 (D)	0	0	0	0	
形式収支 (A-B+C-D=E)	140	241	91	0	
翌年度へ繰り越すべき財源 (F)	0	0	0	0	
実質収支 (E-F)	140	241	91	0	

3 振り返り

(1) 投資について

【本場】

- 令和2年度から屋内荷捌場や冷蔵施設など、青果部に新たに3棟の施設整備を進めています。
- 新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻による物流の停滞、物価・エネルギー価格の高騰、半導体の供給不足などを起因とする、工期延長や建設費上昇などの影響を受けていますが、令和4年度末には1棟が完成し、令和5年度から2棟目の整備に着手しました。

【食肉市場】

- 令和2年度に、老朽化した受電設備を、東日本大震災以降に改訂された建築設備耐震設計・施工指針に準拠したものに更新しました。また、老朽化した監視装置設備も更新し、災害時の電力供給の安定化及び耐震に関する安全対策を向上させました。
- 小動物（豚）解体ラインの更新については、令和4年度に基本設計を実施し、令和5年度は実施設計に着手しました。

(2) 財源について

【本場】

- 令和4年度に、青果部の卸売業者2社のうち1社が業務を終了したことにより、使用料収入が減少するなどの影響が出ています。

- 青果部活性化事業では、市債や国補助金（県支出金）を活用するとともに、施設整備にかかる償還財源を確保するため、令和5年度から新施設の仮供用に合わせ、使用料の徴収を開始しました。

- 照明設備のLED化や外壁改修など、施設の長寿命化にあたっては、一般会計からの繰り入れにより工事を実施しています。

【食肉市場】

- 受電設備の更新や空調設備の改修等では、市債を活用し、施設整備に必要な事業費を確保しました。

- 積極的な集荷や新規仲卸業者の誘致により、令和4年度に仲卸業者1社が入居し、使用料が増加しましたが、特定財源だけでは市場運営が困難なため、一般会計からの繰り入れを行っています。

(3) 投資以外の経費について

【本場】

- 仲卸業者等の販路拡大や経営効率化を支援するため、設備投資等への補助や見本市・商談会、研修会や専門アドバイザーの派遣などを実施しました。

- 市場の認知度を高め、市場取引の拡大につなげるため、市場食材を活用した「食」をテーマとするマルシェ等のイベントや量販店・ホテル等と連携した市場フェアなどを開催しました。

【食肉市場】

- 牛枝肉共励会の地方別フェアを実施し、新たな出荷者の確保に取り組むなど、積極的な集荷に取り組みました。

- HACCPシステムの全面的な導入を行うことで、詳細な衛生管理項目を定め、日々点検を行うことにより、品質管理水準の向上を図りました。

4 今後の方向性について

市場間競争の激化や市場外流通の増加、昨今の物価・エネルギー価格の高騰、物流の2024年問題への対応など、市場を取り巻く環境は依然として厳しさを増しており、先行きは不透明な状況です。加えて、施設の老朽化も進行しており、今後の市場運営には一層の注意が必要です。

そうした中、市民へ安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給するため、計画的な施設整備や老朽化対策、品質・衛生管理の向上や場内物流の効率化、実需者や市場関係者のニーズを捉えた戦略的な集荷・販売力の強化等を推進し、引き続き適正な市場運営と機能強化に取り組めます。

また、会計の健全化のため、市債を活用した投資の平準化や使用料の見直しなど、持続可能な市場運営について、引き続き検討します。

5 新たな会計運営計画について

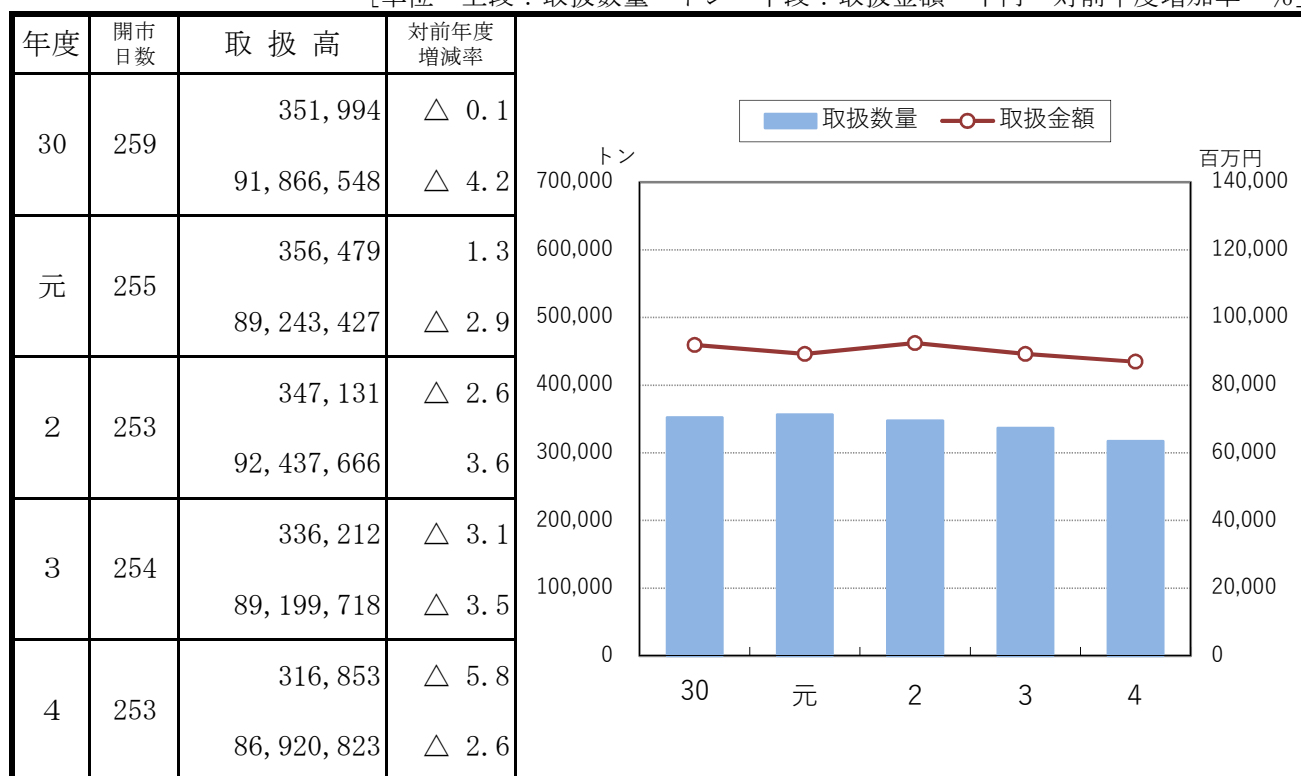
計画期間は、横浜市中央卸売市場経営展望（令和2年度～令和11年度）に合わせ、令和6年度から令和11年度までとします。

計画案については、次回の開設運営協議会で提示します。

横浜市中央卸売市場における取扱高の推移について

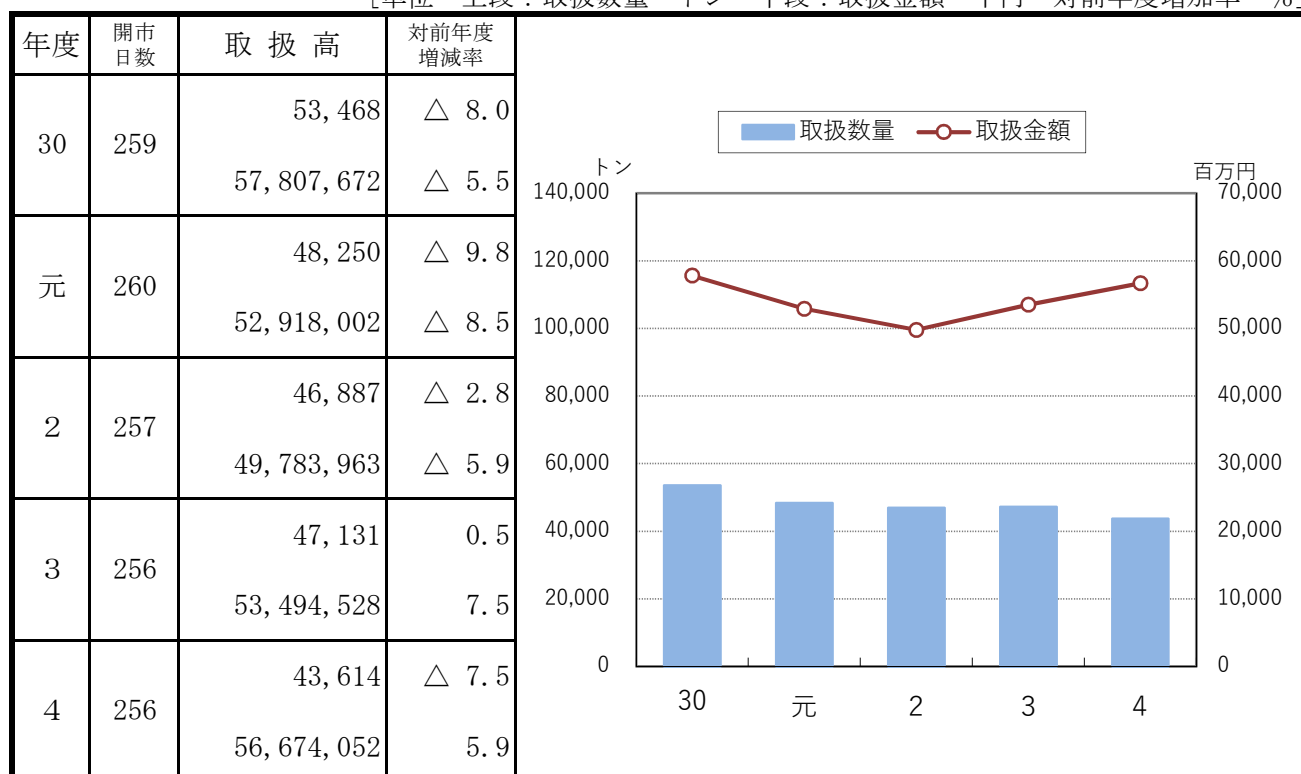
1 青果部

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年度増加率＝%]



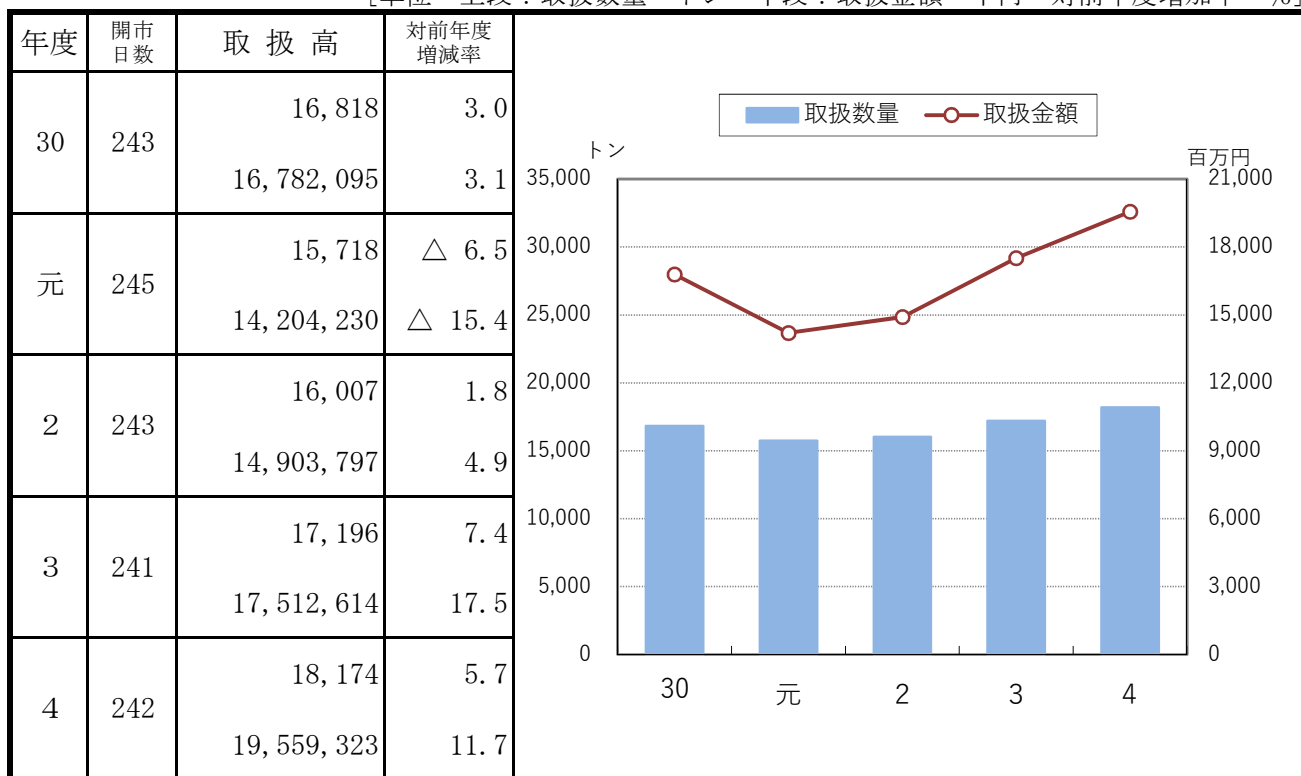
2 水産物部

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年度増加率＝%]



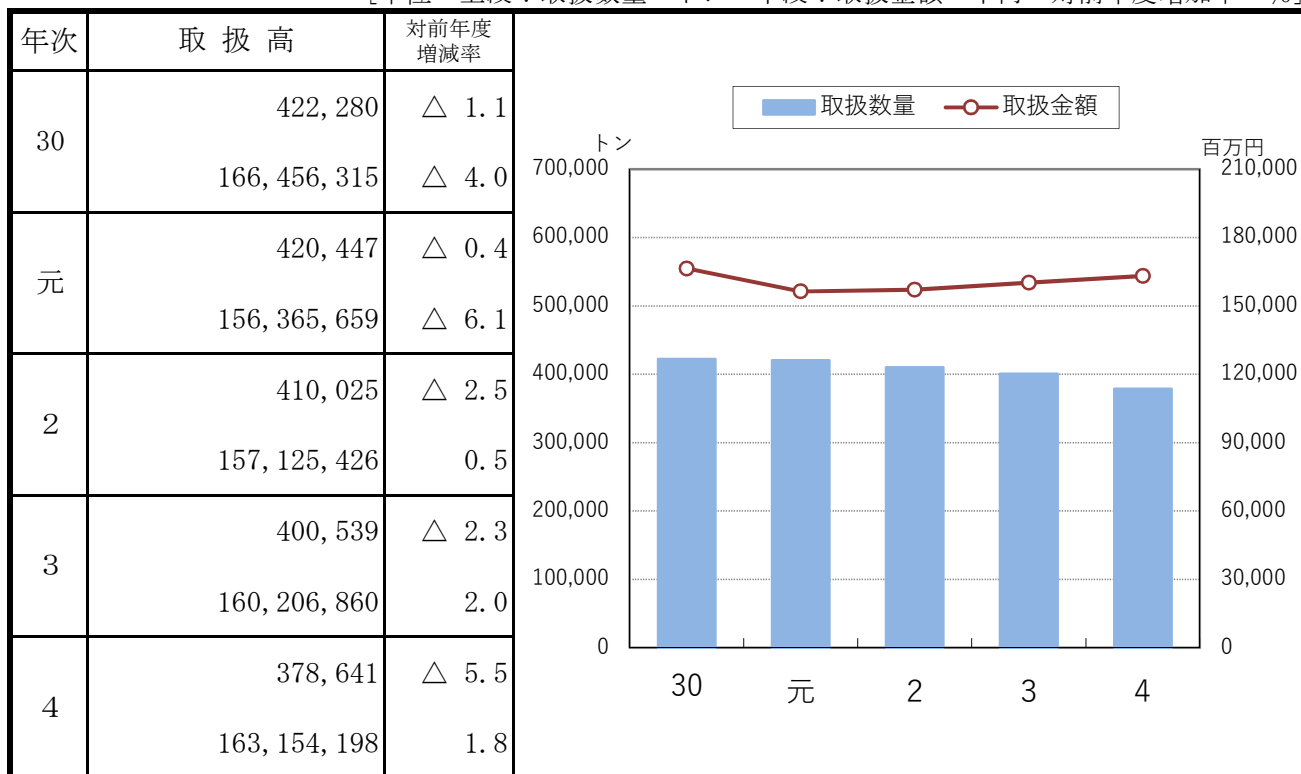
3 食肉部

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年度増加率＝％]



4 合計

[単位 上段：取扱数量＝トン・下段：取扱金額＝千円 対前年度増加率＝％]



横浜市中央卸売市場本場 青果部卸売業者の公募状況について

1 これまでの経緯

令和5年7月7日	開設運営協議会の開催 ・公募の実施、募集要項（案）、青果部専門部会の設置について諮問し、承認
令和5年7月12日	開設運営協議会から横浜市に、上記承認事項を答申
令和5年7月28日	募集要項の公表（記者発表実施）
令和5年8月24日 9月15日	現地説明会 ・2日間で計3社参加 ・横浜市場の概要説明、場内視察、質疑応答等
令和5年10月2日	選定申請書類の受付開始（12月15日まで）

2 今後の主な予定

令和5年11月29日	第1回青果部専門部会の開催 ・部会長、副部会長選任 ・本審査に向けたスケジュールの確認 ・審査基準に関する打ち合わせ
令和5年12月15日	選定申請書類の受付締切
選定申請書類受付後順次	基礎審査、財務状況分析
令和6年2月29日	第2回青果部専門部会の開催 ・本審査（プレゼンテーション、評価・採点、順位付け）
令和6年3月	予定事業者等の選定 →予定事業者選定通知
～令和7年3月（原則）	卸売業務開始

令和5年度 横浜市中心卸売市場プロモーションの主な取組について

【本場】

1 市場プロモーションイベント「春の味覚キッチンカー祭り」

「食」をテーマとしたイベントを開催し市場の認知度を高め、市場取引の拡大を図るとともに、市場周辺地域の賑わいを創出しました。

開催日程等：5月13（土）、14（日）9時から16時、山内ふ頭で開催

来場者数：2日間合計で約3,300人

（13日（土）は1,176人、14日（日）は2,118人）



< 飲食スペースの様子 >



< 販売ブース >

2 食育等の推進

(1) 「いちば食育出前授業」の実施

市場で働く青果部・水産物部のプロが小学校で出前授業を行い、生鮮食料品の正しい知識や、流通の仕組みなどを伝え、食への興味関心を育みます。

○開催校 【記者発表を8/29（火）に実施】

区	学校名	日程	授業の時間	対象	担当
青葉	鴨志田緑	9/7(木)	10:40-12:15	小学5年生 64人	青果部
都筑	中川西	9/8(金)	13:10-14:40	小学5年生 100人	水産物部
神奈川	羽沢	9/20(水)	10:45-12:20	小学3年生 66人	青果部
保土ケ谷	初音が丘	10/16(月)	13:30-15:00	小学5年生 93人	水産物部
神奈川	中丸	R6 1/25(木)	13:30-15:00	小学5年生 61人	水産物部
保土ケ谷	川島	R6 2/5(月)	13:35-15:05	小学5年生 53人	水産物部



(2) 「料理教室」の活動

①南サークルお魚料理教室：6月29日（木）10時から13時30分、参加者17名

②夏休み親子料理教室：8月19日（土）9時から13時30分、参加者28人



(3) 一般開放の活動

①毎月 第一土曜日 「マグロの解体ショー」、「青果販売」などを実施

②毎月 第三土曜日 「市場探検隊」、「地産地消ライブ」、「青果販売」などを実施



<マグロの解体ショー>



<青果販売に合わせた試食>



<市場探検隊>

(4) 小学校社会科研究会の教員との連携

小学校の教員に、産地の現状や市場の役割について理解を深めてもらい、授業に活かしてもらうため、神奈川区・中区の教員の視察受入を実施しました。

開催日時：8月17日（木）9時から11時

参加者：44人



(5) 神奈川県民まつりでの市場のPR

10月8日(日)10時から15時30分。子育て世代向けに、野菜や果物のお絵かきができるブースを出展するとともに、市場のPRとしてチラシ等の配布を実施。

3 市場PRなどの関係

(1) 海洋都市横浜うみ博2023へ出展

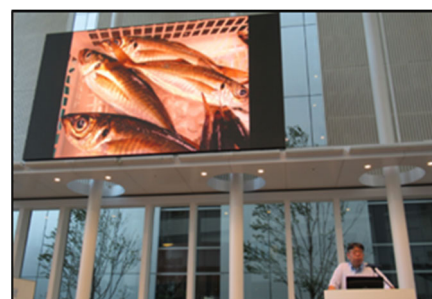
開催日時等：8月5(土)、6(日)10時から17時、横浜市役所で開催



<さかなのぬり絵>



<ワークショップの様子>



<講演の様子>

(2) 横浜市場直送店登録制度について

横浜市中心卸売市場(青果部・水産物部・食肉部)から仕入れを行っている店舗「横浜市場直送店」として登録し、市民へPRする制度。

新たに、神奈川トヨタ自動車(株)が運営するアプリ「M(モビリティ)」で横浜市場直送店に登録している飲食店等のクーポン情報等を掲載し、集客の支援を開始。

登録店舗数(令和5年3月末時点)

	飲食店	小売店	合計
青果部	25	260	285
水産物部	135	70	205
食肉部	6	29	35
合計	166	359	525

4 今後の取組予定

イベント名等	時期	内容等
①市場見学の受入	10、2月	10月に小学校2校(5年生)、2月に神奈川県民向けに実施
②わくわく!こどもデーin横浜北仲フェス	10/21、22	会場：横浜市役所 内容：子育て世代向けに、魚に触れるタッチプールの展示や好きな魚を描けるコーナーを設置
③市場プロモーションイベント「さかな文化祭2023」	11/4	会場：山内ふ頭 内容：市場と連携した企画(タッチプールや水産に関する学習教材を使ったワークショップ)等を実施

【食肉市場】

1 市民向けイベントでの市場プロモーション

(1) 「みなとみらい大盆踊り」での市場プロモーション

みなとみらい地区の夏の納涼イベント「みなとみらい大盆踊り」の売店ゾーンに参加し、市場のPRを行いました。

牛肉の試食（アンケート回答者）及び骨付きフランクの販売を行いました。

開催日程等：8月18日（金）16時30分から20時30分

8月19日（土）15時から20時30分

臨港パークで開催

連携：横浜食肉商業協同組合



<試食提供の様子>



<試食に並ぶ行列>

(2) 「横浜防災フェア2023」での市場プロモーション

「横浜防災フェア」の展示ブースに参加し、市場のPRを行いました。また、市場取扱銘柄のPRとしてJAきたそらちの牛肉の試食（アンケート回答者）及び骨付きフランクの販売を行いました。

開催日時等：9月2日（土）・3日（日）10時30分から17時、

赤レンガ倉庫前広場で開催

連携：横浜食肉商業協同組合



<試食・きたそらちポスター等>



<食肉に関するパネル展示>

2 今後の取組予定

(1) 「横浜肉まつり@ランチ横浜南部市場」の開催

ランチ横浜南部市場に横浜食肉市場が出張し、4年ぶりに「横浜肉まつり」を開催します。

全国和牛能力共進会において4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞した「宮崎牛」の試食、横浜食肉市場のPR展示、ハマモツの調理販売等を行います。南部市場の日イベントとの合同開催です。

開催日程等：11月3日（金・祝）11時から15時、ランチ横浜南部市場で開催

連携：横浜食肉商業協同組合、横浜食肉副生物協同組合

(2) 市民向けイベントへの参加予定

イベント名等	実施時期	内容等
ワールドフェスタ・ ヨコハマ 2023	10/7,8	会場：山下公園 実施：試食肉の提供（霞浦牛（かほぎゅう））等 連携：横浜食肉商業協同組合
つるみ臨海フェスティバル	10/21	会場：入船公園 実施：ハマモツの調理販売等 連携：横浜食肉副生物協同組合

(3) 「横浜食肉市場 PR 館」での周辺事業者向けPRの実施

横浜食肉市場の所在する鶴見区大黒町の周辺事業者向けに、横浜食肉市場PR館の販売強化キャンペーンを展開し、来館者の増加や認知度向上を図ります。

実施時期：令和6年2月頃